

弓道ながの

第66号

発行：長野県弓道連盟
会長 外蘭公毅
〒399-4117
駒ヶ根市赤穂10214-4
TEL0265(83)5206
編集：県連広報部
印刷：県成進社

巻頭言

三重十文字縦線の重要性について

長野県弓道連盟副会長 百瀬 正



私が会長を務めている北信越学生弓道連盟主催の第四十八回弓道選手権大会初日、あまり成績の上からいって、私が会長を務めている北信越学生弓道連盟主催の第四十八回弓道選手権大会初日、あまり成績の上からいって、

私が会長を務めている北信越学生弓道連盟主催の第四十八回弓道選手権大会初日、あまり成績の上からいって、

選手が、二日目から見違える活躍を審判席から良くなったと思っ

控室で北信越学生弓道連盟の文集『第4十六号役員寄稿「胴造りのこと」を読み、自分の胴造りを修正したとの事でした。私の文章が役に立ち、会長として大変嬉しい思いをしました。

昭和五十九年に六段になり、伯父故範士十段窪田真太郎先生よりお祝いに頂いた袴を付け昭和六十一年自宅の地鎮祭に



巻藁射礼をした写真を入院中のベッドで見ていただき胴造りがまだまだとご指導を受けその年の九月教士に昇格することができました。三重十文字の重要性を体感し改めて大切さを認識したことを覚えております。弓道教本では、足踏みは、開く両脚の膝関節は常に自然に伸び、足底を大地に踏みしめ、腰を据え、下半身を安定させ、「胴造り」の基礎とする。

胴造りは、足踏みを基礎として両脚の上に状態を正しく安静におき、腰を据え、左右の肩を沈め、脊柱および項を真直ぐに伸ばし、総体の重心を腰の中央におき、心気を丹田におさめる動作である。以上の動作と配置によって全身の均整を整え、縦は天地に伸び、横は左右に自由に働けるような、やわらかい且つ隙のない

体の構えを作るとともに氣息をととのえることが肝要である。胴造りは終始行射の根幹となり、射の良否を決定する。外形的には一見きわめて単純な動作のようにみえるが、内的にはまことに重要なものである。具体的には、会の部に、詰合

い縦線の構成、両足底、腰、両肩が、上方から見たとき正しく一枚に重なり、脊柱、項が上方に伸び、下半身を安定させるとともに上半身を伸ばす。これを「三重十文字」と称し、縦線を構成する基本

せるが固めることなきように構える事が大切である。縦横の伸びには無理のない自然体の筋肉の緊張が大切であり、背中にはある腰眼に集めた力を腰眼から丹田に心・気の働きと共にいきみとして押し出しこのいきみで離れを誘う、このような身体の動きの中で脊柱、項は宇宙まで伸ばし、足腰で床を踏み抜き地軸まで、相手は北極勝手は南極まで押し伸び、宇宙相手の大十文字の射をせよ、一挙手一投足総てに正しく素直に誠を尽くさねば、

士八段百瀬豊先生は説かれていた。

三ツ重ね 五つの十字基として 地軸に届け 宇宙貫け





祝
七段昇

昇段に思う

教士七段 新津 一夫



木々の緑も色濃く感じる今日この頃、五月の京都にて錬士を受審するようになってから三十

年近くになりました。

弓道教本の最初には、伊勢の神宮弓道場、次に東京の明治神宮至誠館弓道場、そして京都済寧館弓道場の写真があります。弓を始めた時、いつかこの教本に出てくる道場で自分も弓を引きたいと思ったのは私だけでしょうか。

現在、京都済寧館弓道場だけが、私達が引けなくなってしまう唯一の道場です。京都御苑の中にある済寧館弓道場は、五月のゴールデンウィーク期間中に大会・審査が行われていましたが、観光客でごった返す京都の中でもその賑やかさとは別世界のように、隔離



▲済寧館の大会にて

された場所であったと思います。また、京都大会に出るといことは、各部の日本一を目指す可能性のある大会でもあり、全国の弓士が集まる、年に一度の一大イベントですが、一部、武道センターでも大会・審査が行われていました。現在でも武道センターは練習会場として期間中は利用できますが、今でも思い出すのは、両会場とも大きなテント張りの控所で各々の出番を待っていた光景です。時には風雨に悩まされたことも多く、運営はもつと大変であったと思います。

二〇〇七年(平成十九年)に、翌年から各大会・審査の実施を京都勸業館(みやこめっせ)にすると鴨川会長が発表し、思い出深い御所での開催は幕を下ろしました。十年前の平成二十年から京都大会・審査は新しい会場で行われており、みやこめっせは三階の広々としたワンフロアに五射場を仮設した会場で、雨や風を気にすることもなく大会・審査に挑むことができました。

七段の審査については、私も仕事等で忙しく、基本的に京都・東京の二ヶ所で受審してきましたが、長年受審していると、百瀬先生、平野先生、山浦先生とよく一緒にさせていただきましたことがありました。応援や励ましをいただいたほか、帰りもお供させていただいたり、本当に感謝しています。今回の受審は、自分としてはどん底の状態を受けたようなもので、何をしても良いか解らないまま審査に臨みました。昔、教えていただいた先生から、「解らなくなった時は、成長している時なんだよ」との言葉を思い出し、引いて伸びられるところま



で伸びようとしてしか考えておらず、結果がたまたま的中したときか思えない射だった気がします。

二次審査の入場前は、久々に緊張している自分と、体に気力に満ちたものを感じました。二次もたまたま的中し、候補者になれたことをすぐに土川先生、外園先生にご報告しました。お二人ともとても喜んでいただき、弓道を長年続けてきて、あらためて良かったと感じました。

今回の昇段については、家族の理解と応援、県連の先生方はじめ、沢山の弓友、クラブの仲間のお陰だと感謝しております。これからは自分の精進はもとより、恩返しをしなければと思っております。

乱筆にて

北信越地区指導者講習会に参加して

長野支部 教士六段 久保田 智恵

平成三十年五月十二、十三日に石川県小松市弓道場で開催された北信越地区指導者講習会に参加させていただきました。山形県岡崎廣志先生、福島県加藤出先生の講師のもと、北信越五県からそれぞれ六名、計三十名が受講しました。この四月から公認資格認定制度がスタートしたことに伴い、今年度の指導方針の確認がありました。詳細は弓道誌五月号に掲載されています。

矢渡は岡崎講師が射手をされ、第一介添を中村美穂受講生がつとめま



した。岡崎講師は肩を痛めておられるとのことでしたが、会は深く、離れは鋭く、本当に体が痛いのだろうかと思うような気持ちの良い射でした。介添の講評で加藤講師は、「介添は黒子に徹し、目立たないことが大切。その意味では大変よく出来ていた」と評されました。

研修では評価シートを使用し、受講生同士が着付け、基本体、射法八節などについてお互いに見合いました。受講生の一手行射の講師講評を聞いて、自分の見るポイントはどうであったかを比較しました。

講習の中で岡崎講師は、折々パワーハラスメントの防止について話をされました。ハラスメントは人間関係に由来しており、指導する側の態度として、「おしつけの講習はだめ、成体験を与えて、自然と顔がほころぶような指導する」「言うことを聞かないからと排除したり、ペナルティを与えることは絶対にしてはならない。また体の悪い人が引けなくなってしまうようなことがあってはならない」と話されました。教わる側の態



度としては、「言われたままやろうとすると、できないときに自分はダメ」とネガティブになる。失敗を面白がるようになる」と話され、岡崎講師の

「パワフルな山形弁のお話」に自然と笑い声が上がりました。講師はさらに「三十人いれば三十通りの弓がある。自分なりの射を作らなければならぬ。その人の段階に応じた指導をする。自分自身も段階に応じた射をしていかなないと進歩はない。自分の責任で自分の射を変えていく」「あいまいな知識のまま断言しない。後で返事をすると約束したら必ず返事をする」と指導者の心得について話されました。

岡崎講師が射技研修の中で何度か



言われたことがあります。「みんな、自分の一番いいところで離している。楽な射に感動は生まれにくい。会で縮んできた時に、縮まないように伸び合うところ、反発するところで、すかーんと離れる。とにかく動き続けて不安定さを怖がらない。的を見てはだめだ。的を狙うことによって全て崩れていく。失敗をおそれない。妥協しない」。これらの言葉は、的にこころを奪われ、小さく合わせて縮みながら離していた最近の自分にズシンと響き、弓に向き合う気持ちを見直すきっかけになりました。

県の伝達講習会では、講師の先生方の熱をお伝えすることはできそうにありませんが、何を伝達するべきなのかも一度整理して臨みたいと考えています。

北信越地区指導者育成講習会を受講して

佐久支部 錬士六段 篠澤 英次

去る五月十二日・十三日の二日間にわたり、県営富山弓道場において、各県より六名、総勢三十名の代表による北信越地区指導者育成講習会が開講された。この講習会は、今回で七回目となるが、私は、平成二十四年の第一回目及び翌年の二回目に続き、三回目の参加となる。

講師は、主任講師の石川武夫先生と飯島千代子先生。石川先生は、元全日本弓道連盟会長であり、また、介添副本にて第一介添のモデルを務められた先生。飯島千代子先生は、全日本女子



弓道選手権大会において、最高得点賞を何度も獲得された先生。今回も、最高の講師に恵まれ参加できることは、本当に幸せなことであり、また全弓連講師陣にご指導を仰ぐ事が出来る滅多にないチャンスでもあった。そのため、すべてを聞き漏らすことなく、また、己に負けない様に受講しようという心を決めて、挑んで参加した。

冒頭石川先生より、「五年後十年後には、それぞれの地区で皆さんが中核となり指導されていることを期待しています」とのお言葉を頂き、二日間の講習会が開始となった。

石川先生による矢渡に続き、介添の講評。そして、平成三十年度の方針、指導者の心得、指導項目について、昨年との違いを重点に説明を受けた。続いて受講生による一手行射を行った。その後の講評では、体配の所作について、要点を細かく指導して頂いた。様々な教えの中でも新鮮だった

のは、跪坐から立つ際に、足を短くする意識を持つことだった。即ち膝を手前に寄せることで、袴に余裕ができ、袴を引つ張らずに無理なく綺麗に立ち上がる事が出来ると言うものであった。次に、なぜ見取り稽古が重要かを述べられた。それはただ漠然と見ているのではなく、綺麗だなあとと思う所作がどうしてそのように出来るのか探求することの重要さと、それを実践してみる事の大切さを説明された。これら所作のポイントについて惜しみもなく且つ、わかりやすく受講生に伝授して頂いた内容は、「先程の矢渡の際、よく見ていれば、今話したことは全て実践していた」との言葉に、自分の着眼点の無さをつくづく恥じた。

射技指導については、両講師の指導を交互に受け、主な指導内容として、大三で会の手力を確認する。残身(心)での縦線意識。動作は止まって見えている様でも動いている。などの細かい指導を受け、たちまちのうちに一日目は終了となった。二日目は、朝から雨模様。この季節には、丁度良い気候で開始となった。



飯島先生による矢渡に続き、介添の講評。そして、射礼研修が行われた。一つの射礼では、正座での礼において左肘に意識をする。人間の視野と相手の位置関係に関する注意点。全体の間合いや三人の立つ位置に関する相関関係。等々細部にわたって指導を頂いた。その後、昨日に引き続き射技指導を受け、最終の認定試験(仕上げ行射)を行った。今回ご指導頂いたポイントの一つ一つ確かめながら精一杯の一手を行射し、終了となった。

今回も、先生方の知識の多さと、卓越した射の流れに魅了された。本講習会で得た経験をこれからの修練に生かしていきたい。最後に、このような貴重な講習会に参加させて頂いたことに深謝申し上げます。ありがとうございました。

池田町弓道場開

池田弓道会 会長 丸山 昇一

この度「池田町社会資本総合整備計画」の道路整備において新しい道路が旧弓道場を通るため移転新築のはこびとなりました。

この計画が知らされてから三月二十四日の道場開きまでに本当に皆さんの皆様のなみならぬ熱意とご尽力を頂き一時は建たないのではと、心配する時もありましたが無事に完成いたしました。

この経験で思いましたのが弓道をおこなうにはどれだけの人が携わり出ているのか、ただ弓と矢を持ち的に向かって矢を放つそれだけでも感謝ですが、そこに驕りの心があつてはいけない、いろいろな人に感謝しここに立たせてもらっている、道場は心を洗い、



磨く場所ではなくてはならないし、あり続ける努力をしなくてはならないと思いました。そして新道場建設に携われたこと、微力ではありましたが協力させていただけただけことは自分の財産になりました。

当日は百瀬先生による暮目の儀、大式的からはじまり土川先生の巻藁謝礼、池田町弓道会員の矢渡、松本・塩尻・木曾・安曇・大北の各支部長の先生方による持的射礼を披露して新しい道場に魂を入れていただきました。本当に感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。又先生方の凛とした体配の所



作の一つ一つを学ぶことができたことは弓道を続けるものにとってかけがえない時間でした。

新道場は以前より射場も控えも広くなり余裕を持って稽古や大会の運営もできるようになりました。

弓道を行うにあたってとても大切な安全対策ですが隣接するテニスコートご利用の皆様、農地所有者の皆様のご不安を解消出来るよう当初の計画を見直し、追加での処置もおこないました。今後皆様さんのお考えを取り入れて素直な気持ちで向かい合い、安心安全な道場にしていこう研鑽していく所存です。

旧道場は一九八二年(昭和五十七年)に建てられ三十六年間先輩方の情熱と熱意がこもった道場でした。解体される日には何名かの会員が見ていました。その姿には寂しい思いがありました。しかしここからまた始まるのではなく今までの池田町弓道場の基礎の上に積み重ねる歴史は途切れることなく続いていくものと信じています。



この記念に桜の木を記念樹として会員みんなで植えました。来年の春には一つでも二つでも花が咲きますようにそう願うばかりです。

県営飯田弓道場採幕完成

故山川茂樹先生寄贈

長野県弓道連盟 会長 外蘭 公毅

平成二十八年九月に亡くなられた範士八段山川茂樹先生の追善射会を昨年十月に行った折に、ご遺族から過分なるご遺志金を県弓道連盟へ戴きました。

山川先生の遺徳を偲び、長く後世に残る記念となるものと考え、県弓道役員、或いは実際県営弓道場の管理に関わっておられる飯伊支部の役員の方とも検討してまいりました。

県営弓道場の公式大会で使用してまいりました採幕は、平成四年の竣工時に当時の県知事吉村午良氏から寄贈していただいたものであり、長年の使用で、かなり色褪せ、傷みも目立つようになりました。更新を県の方へ要請していた時でもありましたのでご遺志金をこの採幕の更新に充てることに決めました。

飯田市の(有)スミッネ染物屋さんに製作を依頼して完成が待たれていました。尚、採幕の「観徳」の字などは名誉会長土川俊市先生に揮毫していただきました。

三月末に完成の知らせがあり、お披露目を今年の県弓連の大会の時にと思いましたが、残念ながら今年は県営弓道場の近的射場を使う予定が

ありません。できるだけ早く皆さんにご覧いただければと思います、関係者で集まり、新しい採幕を掛けて写真撮影を行いました。既にホームページに掲載しましたが「弓道ながの」でも紹介し、記録に留めたいと思います。どうぞご覧ください。



弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロτζヂ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP: <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861



第69回 全日本男子弓道選手権大会
第51回 全日本女子弓道選手権大会
長野県予選会

期日：平成30年5月20日(日) 於：松本市弓道場



大会結果

男子	女子
1位 宮坂 博之(諏訪)	1位 中村 美穂(諏訪)
2位 北原 修(上伊那)	1位 久保田智恵(長野)
3位 大久保雅揮(松本)	3位 藤澤 敏子(飯伊)
4位 清水 北登(佐久)	4位 牧野ふみ江(南佐久)
5位 志村 仁(諏訪)	5位 中田 美千(松本)

弓仲間紹介

穂高商業高校 弓道部
弓道部長 田中龍之介

中学校時代は、「野球」「野球」「スキー」「野球」って感じで動きの激しいスポーツをやっていました。その生活が高校入学後、弓道に出会って大きく変わりました。初めて見た弓道は、静かなゆっくりとした動きから一気に鋭い動きに転じる、今まで知らなかったものでした。とても魅力を感じ、僕は、弓道の世界に飛び込みました。ランニングもしなければ、声出しもない、中学時代とは、全く違う練習に戸惑いながら、そして、毎日、同じ練習の繰り返しに凹みながらの弓道生活が始まりました。練習が辛くなると、的に向かう先輩たちの姿を見て、「今、ここで頑張れば、自分も的に向かえる」と自らを励まし、頑張ったのを覚えています。



あっという間に月日は流れ、今は三年生。部長となり、一年生を指導する立場になりました。しかし、これまで、順風満帆であったわけではなく、悩んで凹んだことの方がはるかに多かったです。在籍高校が商業高校であったため、数多くの検定試験があります。そのため放課後練習が多く、思うように練習ができないことに苛立ったこともありました。そんなときは「両立できない者は一人前になれない」と自分に挑戦するように考えました。さらに、弓道場が民家のすぐ横にあるため、的に中る音が迷惑にならないようにと、朝練習は、的紙なしの枠だけを安土に付けて練習しています。とても、物足りなさを感じますが、検定練習と同じように見方を変え、「そうやって気を使わないといけないほど中るようになった」と思うようにしています。

今、高校総体県大会を目前としています。弓道に出会ってから、二年間。この二年間の決着を付けるべく、最後の練習に取り組んでいます。

私と弓道

飯山支部 錬士五段 丸山 晴美

私が弓道を始めたのは、高校時代です。先輩、同期が活躍する中、余りにも下手だった私。それでも当時顧問だった須藤先生(今も道場でお世話になっていきます)の活気ある部活は、楽しいものでした。

卒業後、市報の「弓道教室案内」を見て、申し込みした事がそれ以降も弓を続けるきっかけとなりました。

古澤先生、平野先生に御指導頂き、一から育てて頂きました。昔の飯山は今よりも雪も多く冬期は、まだ小さい道場で、巻藁を引くのがやっとだったと思います。その矢道を、雪の積もった夜に的一つ分シャベルで平野先生がかいておられました。

仕事の後にもかかわらず、もくもくと作業されている姿に、自分の気持ちも正された気がしました。「弓を引かないと一日が終わった気がしない」との先生の



言葉に「ええ!?」と思っていた私も段々と同じ様になり、仕事の終わる時間が待ち遠しくなりました。本場に道場に行くのが楽しくて。又、弓仲間と、予選会に出る為に、朝グラウンドで遠的練習、仕事帰りに近的と、体はきつかったですが、楽しい青春時代を過ごす事ができました。若い頃の仲間も子育てを終え、道場に戻って来た方もいます。初心者の方も、道場に来ないと落ち着かなくなってきた様で楽しみです。

今まで沢山の先生方、仲間との出会いがあり、ここまで続けてくる事が出来、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、初心を忘れず精進していきたいと思えます。お世話になります。宜しくお願い致します。

大会結果

第50回 中日本女子弓道大会(中日本の部)

- 平成30年3月4日(日)
- 日本ガイシプラザ弓道場
- 初段、参段の部
- 1位 馬場 絢音(上伊那) 参段

御奉射大会

- 平成30年3月17日(土) 穂高神社弓道場
- 参加人数・高校233名、一般68名、合計301名
- 個人の部(6射)

- ▲高校
- 1位 大久保大和美須々男子B
- 2位 宮下紗智乃(志学館C)
- 3位 竹内 大和(二葉B)
- 4位 原田 萌々(美須々混成)
- 5位 塚田啓俊士(松商D)

- ▲一般
- 1位 大原 薫(池田上越混成)
- 2位 岩原 祐貴(上田B)
- 3位 小林 國弘(池田B)
- 4位 山崎 充夫(大町A)
- 5位 松井 幸彦(池田上越混成)
- 団体の部(18射)

- ▲高校
- 1位 二葉B(竹内大和、佐藤悠、野澤拓磨)
- 2位 縣陵男子B(酒井駿、矢ヶ崎亮太)
- 3位 志学館B(村田啓太、鈴木蓮、小出唯羽)
- ▲一般
- 1位 池田上越混成(大原薫、樋口治、松井幸彦)
- 2位 チーム葵(竹花葵、清水北登、小田切祐典)

第33回 塩尻市弓道大会

- 平成30年3月18日(日) 塩尻市弓道場
- 参加人数・中学10名、高校21名、一般24名、合計253名
- 個人の部(8射)

- 1位 田中龍之介(穂高商業E)
- 2位 高見菜乃亜(縣陵女子A)
- 3位 岡田 晃輝(志学館I)
- 4位 持田 武二(チームドリム)
- 5位 小野 聖泰(木曾青峰C)
- 団体の部(12射)

- 1位 大町岳陽A(松澤遥香、浅川未夢、江津波奈)
- 2位 美須々E(百瀬涉人、相馬舜介、保科翼)
- 3位 チームドリム(荒木義博、持田武二、白井昌美)

平成30年度 長野県勤労者弓道選手権大会兼 第65回 全日本勤労者弓道選手権大会 長野県予選会

- 平成30年4月1日(日) 駒ヶ根市弓道場
- 参加人数・11チーム 33名
- 個人の部

- 1位 横澤 志織(長野県庁)
- 2位 長澤 雄太(諏訪赤十字病院)
- 3位 塚田 湜巳(長野県庁)
- 団体の部

- 1位 長野県庁(山崎征樹、塚田湜巳、横澤志織)
- 2位 北信教員(生田憲克、倉田亮輔、窪田和恵)
- 3位 諏訪市役所(塩澤隆慈、五味沙話子、市川隆光)
- 第65回全日本勤労者弓道選手権大会
- 1 長野県代表チーム
- 2 北信教員

- 3位 上田B(岩垂優一、宮島苑子、岩原祐貴)

■射技優秀賞
塚田 滉巳(長野県庁)

第73回国民体育大会弓道競技
長野県二次選考会通過選手

○平成30年4月14日(土)
松本市弓道場、須坂市弓道場

- ▲少年男子12名
- 1 山浦 龍一(岩村田)
 - 2 関森 来紀(岩村田)
 - 3 篠澤 知英(野沢北)
 - 4 藤澤 航平(須坂)
 - 5 古川 可成(長野日大)
 - 6 松木 航也(長野南)
 - 7 籠田 真輝(塩尻志学館)
 - 8 村田 啓太(塩尻志学館)
 - 9 深澤 龍平(松商学園)
 - 10 矢澤 海斗(飯田OIDE長姫)
 - 11 百木 梨太(伊那弥生)
 - 12 蟹澤 契太(駒ヶ根工業)
- ▲少年女子10名
- 1 三河ひより(上田染谷丘)
 - 2 宮下 彩果(小諸商業)
 - 3 竹内沙也加(長野)
 - 4 伊藤 優業(長野商業)
 - 5 吉岡 愛珠(長野日大)
 - 6 春原 か乃(長野吉田)
 - 7 竹田 千乃(大町岳陽)
 - 8 村石 芽生(松商学園)
 - 9 片桐 玲果(赤穂)
 - 10 田中 香梨(伊那西)
- ▲成年男子8名
- 1 藤森千友貴(上小)
 - 2 小田切祐典(小諸)
 - 3 清水 北登(佐久)
 - 4 浜 直樹(諏訪)
 - 5 岩原 祐貴(諏訪)
 - 6 蟹澤 史弥(上伊那)
 - 7 岩村 拓生(飯伊)
 - 8 平澤 敏弘(飯伊)
 - ▲成年女子7名
 - 1 横澤 志織(長野)

第40回善光寺弓道大会

○平成30年4月15日(日) 善光寺弓道場
参加人数…一般17名

- 参加人数…一般17名
- 一般個人の部(8射)
- 1位 寺島 未歩(信大B)
 - 2位 松坂 仁樹(信大A)
 - 3位 下坂 哲也(善光寺A)
 - 3位 戸田 健太(信大B)
 - 3位 西沢 徹(おまびよん)
 - 3位 伊藤 益瑠(信大A)
 - 3位 久保田智恵(伊北)
 - 3位 永藤 聡(須坂)
 - 3位 水上 和(善光寺B)
 - 3位 中澤 優衣(信大B)
- 一般団体の部(32射)
- 1位 信大A(奈良本龍哉、伊藤益瑠、石原慎也、松坂仁樹)
 - 2位 信大B(寺島未歩、戸田健太、野見山侑也)
 - 3位 善光寺A(伊藤貴啓、横澤志織、下坂哲也、笠井信夫)

第74回上信越弓道大会

○平成30年4月22日(日) 小諸懐古射院
参加人数…120名

- 参加人数…120名
- 個人の部
- 1位 若林 惺季(小諸)
 - 2位 小保 充(スバル)
 - 3位 荒川 貴(スバル)
- 団体の部
- 1位 スバル(武田節夫、荒川貴、小保充、山崎智浩)
 - 2位 佐久B(大井峰幸、山浦明子、白井昌美、持田武二)

3位 群馬A(前田彩、赤石清志、静野忠雄、鈴木啓太) 10中

第76回長野縣護國神社例大祭奉納
県下弓道大会

○平成30年4月29日(日・祝)
長野県護國神社弓道場
参加人数…高校151名、一般82名、合計233名

- 個人(8射)
- ▲高校
- 1位 村田 啓太(塩尻志学館男子)
 - 2位 深澤 龍平(松商男子A)
 - 3位 大田 雅久(上田東男子)
 - 4位 上條 銀(縣陵男子A)
 - 5位 原田 星南(上田東女子)
- ▲一般
- 1位 藤森千友貴(東信連合)
 - 2位 月岡 竜大(信州大学B)
 - 3位 樋口 浩昭(個人A)
 - 4位 茂山 裕貴(信越)
 - 5位 駒井 悠乃(信州大学D)
- ▲団体の部(24射)
- 1位 塩尻志学館男子(村田啓太、金森大晴、岡田晃輝)
 - 2位 上田東女子(佐藤里音、平林果穂、原田星南)
 - 3位 松商男子A(塚田啓俊士、海野慧水、深澤龍平)

第66回飯田市民弓道大会

○平成30年4月29日(日・祝)
飯田運動公園 県営飯田弓道場
参加人数…高校120名、一般32名、合計152名

- ▲一般
- 1位 信州大学B(荒井綾音、水上和、月岡竜大)
 - 2位 東信連合(清水北登、岩原祐貴、藤森千友貴)
 - 3位 信越(茂山裕貴、水澤拓未、保木野克海)

▲個人の部

▲高校(男子)

- 1位 大前明日翔(飯田風越)
- 2位 新井 雄大(飯田OIDE長姫)
- 3位 深津 爽(飯田)
- 4位 大沢健太郎(下伊那農業)
- 5位 土屋 紳(飯田)

▲高校(女子)

- 1位 田中 沙英(下伊那農業)
- 2位 宮下智華子(下伊那農業)
- 3位 水上楓美子(阿智)
- 4位 北沢 唯菜(飯田風越)
- 5位 平林 美依(下伊那農業)

第62回北信弓道大会

○平成30年4月29日(日・祝) 飯山市弓道場
参加人数…中学28名、高校49名、一般65名、合計142名

- ▲個人の部(6射)
- ▲中学(男子)
- 1位 石井 丈巳(長野日大)
 - 2位 鈴木康士郎(長野日大)
 - 3位 高梨 晃成(市立長野)
- ▲中学(女子)
- 1位 峯村 桃子(長野日大)
 - 2位 山田 美月(市立長野)
 - 3位 田中百合子(市立長野)
- ▲高校(男子)
- 1位 松木 航也(長野南B)
- ▲団体の部
- 1位 矢真飛(中村健二、坪井優、平澤敏弘)
 - 2位 飯田OIDE長姫男子(新井雄大、木村元哉、矢澤海斗)
 - 3位 飯田風越男子(大前明日翔、福島雷彩、筒井真斗)

第45回 佐久鯉祭弓道大会

○平成30年5月5日(土・祝)
佐久駒場公園弓道場
参加人数・高校80名、一般90名、合計170名
■高校団体の部(24射)
1位 岩村田A(関森来紀、矢嶋剛士、山浦龍一) 17中

- ▲高校(女子)
- 2位 和里田凌太(長野吉田C)
- 3位 徳竹 竜丸(北部)
- 1位 坂井なぎさ(長野西B)
- 2位 伊藤 優菜(長野商業B)
- 3位 原山 眞実(長野吉田B)
- ▲一般(男子)
- 1位 大原 薫(上越)
- 2位 青山 雅志(大北)
- 3位 宮川 繁小千谷
- 4位 赤芝 眞平(長野)
- 5位 苔米地優作(上小)
- ▲一般(女子)
- 1位 徳武 久子(中高)
- 2位 松下はるみ(長野)
- 3位 本山かえで(飯山)
- 4位 窪田 和恵(大北)
- 5位 宮島さおり(長野)
- ▲団体の部(30射)
- ▲高校(男子)
- 1位 長野吉田(北村竜也、井出匠飛、荻原篤志、宮澤達也、和里田凌太) 18中
- 2位 長野日大B(後藤友作、島田将門、宮尾智哉、轟雅文、古川可成) 18中
- 3位 長野商業A(外谷駿介、松橋成、井出千尋、松本隼輔、吉野柊郎) 18中
- ▲高校(女子)
- 1位 長野南B(伊藤百音、藤澤瑠奈、緑川未涼、伊藤絢女、飯島成未) 16中
- 2位 松本県ヶ丘C(太田望友、伊藤百花、藤澤かな子、市川絵梨、迫間櫻子) 16中
- 3位 長野吉田C(木下しおん、原桜花、櫻井凜、進藤真心、春原か乃) 15中

- 2位 野沢南B(佐藤桃子、赤石美空、高見澤峻) 15中
- 3位 佐久総合技術B(高畑将也、駒村大介、合津かのん) 14中
- 一般個人の部(8射)
- 1位 清水 北登(佐久支部)
- 2位 塚田 混巳(佐久支部)
- 3位 栗林 正直(小諸支部)
- 7中
- 金的賞
- 高見 澤峻(野沢南高校)
- 幸島 圭唯(野沢南高校)
- 合津かのん(佐久平総合技術高校)
- 山下 光(一般)
- 宮澤久美子(一般)
- 7中

平成三十年度 功労者表彰



宮下 重敬 教士六段(長野支部)

長野高専名誉教授を歴任され、二十二年まで副会長を務められた宮下先生は、平成二十九年秋の叙勲で瑞宝小綬章を受章されました。
この度、全日本弓道連盟よりの功績を讃え、第69回全日本弓道大会(京都)に於いて表彰されました。

昇段昇格者

- ◇「京都」定期中央審査会
- ▽七段の部平成30年5月5日
新津 一夫(須高支部)
- ▽六段の部平成30年5月5日
中村 健二(飯伊支部)
- ◇「東海地区」臨時中央審査会
- ▽錬士の部平成30年5月19日
内山 幸三(上小支部)
持田 武二(佐久支部)

訃報のお知らせ(敬称略)



ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

長野県弓道連盟 顧問
範士十段 宮澤 廣(92歳)
平成30年6月9日(土)
ご逝去されました。
長野県弓道連盟 塩尻支部
錬士五段 加藤さち子(53歳)
平成30年5月11日(金)
ご逝去されました。

ひゅびゅ

二年前の春、彼女からの信じられない言葉を耳にしてからは、心遣いや、言葉づかいに意識するようになった私に對し、そうさせまいとする笑顔や振る舞いをする彼女。「家で考え込むより道場に通っている方が気が紛れるし、早く治して一緒に弓を射きたいね...」五月十一日、五十三才で家族に見守られながら彼女は息を引き取りました。
私の支部弓道教室の講師と、彼女の高校弓道部の顧問の先生が、共に、故小林基美先生であったことから、会社での上司部下関係よりも、同じ弓道愛好家としてお互いに弓三昧の毎日でした。その後私は独立し、彼女は介護の仕事に就きましたが、仕事の合間をみても、弓、弓、弓。
今考えてみれば彼女の人生は「弓」ひとすじ。その好きな弓のことを思いながら、又弓仲間からも慕われて、本当に幸せな人生だったと思います。位牌には「弓」「幸」「道」の文字が刻まれています。弓道をやっている本当に幸せでしたというような戒名にうらやましさを感じました。あらためて、加藤さち子さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。
安曇支部 丸山萬佐巳